

## 第1回土岐市老人保健施設やすらぎのあり方検討委員会 議事概要

1. 日 時：令和5年1月23日（月）15時～16時10分
2. 場 所：土岐市役所 大会議室2A
3. 出席委員：別添委員名簿のとおり（水石玲子委員は都合により欠席）
4. 議事等内容

市長あいさつ、委員自己紹介、本検討委員会の設置目的について別添資料①により事務局から説明した後、議事進行

### (1) 委員長・職務代理者の選任について

委員長に大藪元康委員を選出。

大藪委員長が職務代理者として、田伏英晶委員を指名。

### (2) 土岐市老人保健施設やすらぎの現況について

別添資料②～④をもとに事務局から完結型医療連携施設として病院併設で設置された老人保健施設である「老健やすらぎ」の成り立ちおよび、土岐市の介護サービスに係る現状、老健やすらぎの利用状況及び介護サービス実績、経営状況について説明後、委員による意見交換を行った主な意見・質問は、次のとおり。

○全国的にみた介護老人保健施設の今後の需要見込みや平成30年度に定められた5類型（在宅支援、在宅復帰機能に応じた分類）の中で、老健やすらぎはどの分類に属するのかご教示いただきたい。

○介護老人保健施設の入所系サービスとして本来の在宅復帰を支援するニーズよりも、終焉の看取りまで面倒をみってくれる介護老人福祉施設への入所待ちのニーズが主流となっている。

○経営的観点から、定員の50%以下であれば、その収入に見合った職員数となるような整理も必要と考える。同時に、平均的な入所日数もご教示いただきたい。

○病院併設の老健施設ということで入所及び短期入所の需要はあると思うが、十分に対応してもらえない印象。

○居宅サービスである通所リハも市内唯一の音楽療法士在籍という付加価値があり、受け入れをお願いしたいが、対応する介護スタッフ不足により受入困難な状況になっている。

○病院統合による新病院の動きが本格化している最中、老健やすらぎの将来展望が見えていないため、介護認定者に対し利用を勧めにくい状況になっている。

○施設経営の中で給与費の減少から、職員数の減少も伺える。需要ニーズの見込みに伴って、介護スタッフを増やす必要がある。

### (3) 委員会の公開（傍聴）について

事務局より委員会の公開（傍聴）の是非について委員会にお諮りした結果、委員の闊達な意見による議論の場の提供や、資料及び議事概要について常時ホームページ上で公開していくことを受けて、委員会は非公開とすることを委員の了承を受けて委員会にて決定した。

## まとめ

本日の現状説明を踏まえたうえで、各委員のそれぞれの視点として老健やすらぎの今後について議論する。意見・質問のあった以下の事項については、次回検討委員会にて事務局が回答する。

- ・介護老人保健施設としての全国的な需要見込み
- ・老健やすらぎの介護老人保健施設として属する類型
- ・老健やすらぎ入所者の平均入所日数